

1959-60年度ロータリーの目標

TARGETS FOR 1959-60

本月1日に始まる、年度の国際ロータリー会長 Harold T. Thomas は、その就任の第一声で、我々 473,000 のロータリアンを世界一のチームに造り上げ、そのキャプテンとして、我々が向う一年間に達成すべきロータリーの奉仕に号令し、その指針を示しました。それは大要次の通りであります。

良いチームは単に共に働くばかりでなく、共に良く考えなければならないことを強調し、ロータリーの奉仕に生気を与え生命のあるものにし、且つ、ロータリアン一人一人がそれを身につけ、以って隣合っている国々に友愛の懸橋を造らなければならないと云っております。

今では世界の国々には近所隣りのようになって今迄よりも一層友愛の懸橋を必要とするようになった。そうなる初めて善人が相接し合い良い隣人となりうるもので、これ以外に人類が生存し、世界の平和を保ち進歩を計る方法はないと力説しております。

この友愛の橋を構築することこそ我々ロータリアンの任務であって、最初のロータリー・クラブが誕生したのは兎角、離れ離れになり勝な職業からの友愛精神の間隙に橋をかけようということであったのであります。その懸橋こそロータリーがもたらした最初の業績であり、特筆に価するものであります。もともとロータリーは人と人との間、国と国との間に友愛の橋をかけるために組織せられたものであることを強調しております。

バスターガバナー

宮 脇 富

これまでの経験とその成果は、ロータリーの在り方の堅実さを証明しており、既に多くの成果をあげておるがまだまだなすべき多くのものが残っている。我々は我々に課せられた名誉あり且つ重要な仕事に直面しなければならない。その仕事というのは、ロータリー活動に生気を与え且つロータリアン一人一人がそれを身につけることであり、ロータリーにある最善のものは、我々各人の持つ最善のものに価するものである、ということ喝破しております。

生気を与えよ

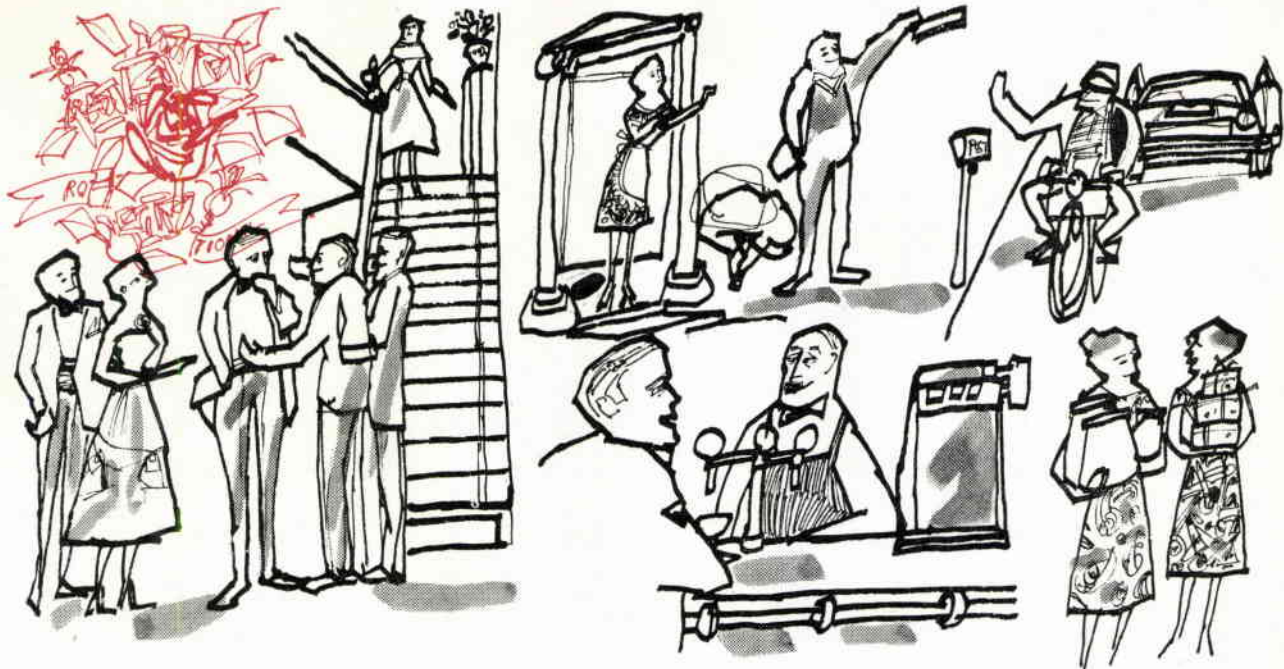
身につけよ

ポール・ハリスが夢見た隣り近所のような世界は、今は理想の域を脱して人類生存の条件として現実の最前線にまで進出しました。

一個人としては誰も、この全く新しい事態に直面している複雑極まる問題の凡てを解決し、また理解することはできないであろうが、少くとも我々の誰でもその問題の中に入るといよりも個人的にその解答の中に入る決心をすることはできるであります。

クラブ内でまた地域社会において、ロータリーに生気を与えることによってその解答の中に入ることができます。そのような機会は国により地域社会によって異なるものでありますから、誰も凡ての環境に合うような案を造ることは出来ずまい。然し国の如何を問わず地域社会に関係なく、その機会と必要性は何処にもあります。

それにしても、最も重要なことは、先ず第一にロータリアンがロータリーを完全に理解することであり、我々の持つものを活かし、これを向上せしめんとするには、各自が人間関係の如何なる局面にも又直面する如何なる問題にも、ロータリーが自然にしかも効果的に応じうる点を認識で



きなければなりません。

- ロータリーの意味するものの自覚。
- クラブでその潜在力に生氣を与えよ。その力は利用せられるのを待っている。
- 仕事に熱意をこめるため新会員の潜在力に呼びかける。
- 知識、経験及び学問の豊富な古い会員の協力を求める。
- 四つの奉仕部門におけるロータリーの原則に照してクラブそのものを検討する。

各会員の個人的寄与をロータリーの全局面に強調してその回答を身につけることであります。内にあるのはクラブ奉仕、外に向っては社会奉仕において親睦と個人的な奉仕はロータリー独特の精神であります。本年こそその精神を働かすようにしましょう。

友愛の橋をかけよう

ちょっとロータリーの根幹について考えて見ましょう。我々は、良い果物は常に良く培われた根の生産物であることに気がつくでしょう。ロータリーも同様であります。

ポール・ハリスは、各個人が交友の機会を一層多くもち、殊に新しい友が自分の職業以外から来たとすれば、生活は凡ての関係者にとって一層善いものになるということを信じていました。彼は此理想を一つの組織の下で実行せんとして1905年

に最初のロータリー・クラブを造ったのであります。

組織化された交友は理想であって、最初の目的は常に分離され勝であった職業と交友の間に橋をかけることであります。ところが、職業に感情を容れる余地はないということが殆んど通則であった時代には、此理想は全く革命的なものであります。

その間隙に橋をかけるロータリーの成功は単に端緒に過ぎません。然しなんとその端緒は素晴らしいものでありましたか。それは職業人の心を捕え、奉仕の理想であるロータリーの綱領としての広範な概念を生んだのであります。それは、ロータリーに目的と方向の感覚を与えました。その目的及び方向こそ、今日我々の最も必要とするものであります。

- 貴方と貴方の同僚ロータリアンとの間に
- 貴方と貴方の雇人との間に
- 貴方と貴方の競争相手との間に
- 貴方と貴地域社会の同胞市民との間に
- 貴方と世界中の友人との間に

今日直ちに交友の橋をかけることができます。

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕において、無数の橋が、人と人との間に、恐らく最も顕著なものとして国際奉仕において異った人種、信仰及び文化の間にかけられております。

然しながら、奉仕の理想はたった一つであり目

では見る事ができません。そこで奉仕の四つの部門は、必然的にその最も重要な橋即ちロータリーの思索及び活動目標に向う橋、友情こまやかな善隣世界への橋をかける過程にある自然の焦点に向って我々を導いてくれるのであります。

行動の計画

会長の皆さんに望むことは、先ず手を打つこととあります。クラブ内の傾向、趨勢、手順、方法及び習慣は、手続要覧の75—76頁に示されている「ロータリーの根本特色」に照して見ることであります。尤もこれは、仮クラブのために示されたものでありますが、又、凡てのクラブに対しても関係のあることであります。

次にあげますことは、分り易いクラブの評価方法であります。

1. 長期にわたるクラブの進歩と現状を検討する目的で元会長の会合を求める。
2. 過去、現在及び潜在するクラブの成果を評価し、これをクラブ理事会に提出する。
3. 理事会の意見及び勧告をクラブ協議会又は

クラブ全体に報告する。

4. 数日中に委員会を開催せしめ、理事会の決定を実行に移すため詳細なる計画を作成、報告せしめる。
5. 此計画を補足するため新会員の意見を求める。彼等の回答は、彼等がどれだけロータリーを理解し、又どの程度クラブ活動に身をいれているかを知ることによつて役立つものであります。
6. ロータリーの経験を持つ会員のいない新しいクラブでは、スポンサークラブから助言を受ける。

此計画を実行すれば必ずや、有益な企画が生れるでしょう。それによつてロータリーの理解を一層大ならしめ且つ地域社会における奉仕の機会を一層多くつかむことになるでしょう。それは、「私はたゞ一人ではあるが、単なる一人ではない。私は何んでもできる訳でもないが、何かができる。そして神の加護によつて私のできることをやる」と書いた人の精神で、その課せられた責任を果す上個々のロータリアンを刺激するでありましょう。

今評判のゴルフクラブは...

"Nippon Golf."

信用ある全国有名デパートで販売されております

株式会社
日本ゴルフ用具製作所

東京都新宿区市ヶ谷田町2-31
TEL (33) 4726・7304

丸ビルのゴルフ用品

完備した
練習場

と釣具



四ツ谷ソフィアゴルフクラブ
TEL (33) 9525

丸ビル一階
日本ゴルフ釣具株式会社

TEL (20) 0801-2・3501

営業所・新宿区市ヶ谷田町2-32 TEL (33) 4726・7304

国際ロータリー新会長
H. T. トーマスさん

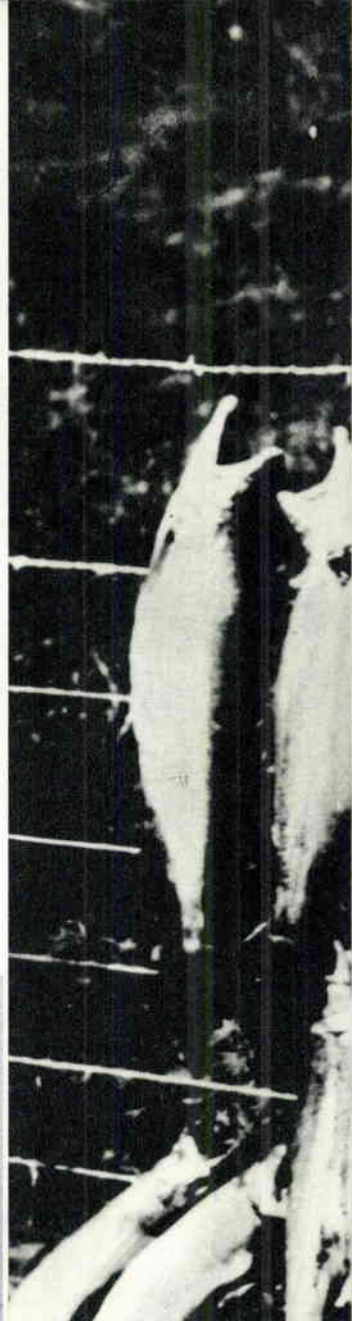


Mr. Harold T. Thomas, 1959-60 President,
Rotary International and His Family

1959-60年度 ハロルド T.トーマス氏
国際ロータリー会長



レークブラシッドのトーマスさん、ランダル会長、小林第1副会長そして、われわれの新ガバナーと記念撮影。



ノイ夫人と娘のドロシイさん、そしてお孫さんのアンナさん。



大漁にごきげんのトーマス会長。トーマスさんの趣味は、魚釣り、狩猟、花の栽培などです。

ハロルド T. トーマスさんの横顔

トーマスさんは1891年、ニュージーランドのオーフオラの司法官の家庭に生れた。父君は学校建設のために土地や資材を寄付したり、母堂は医学の心得があることから、当時医師のいなかった土地の人々のため、医師代りをつとめるなど、面親は公共心に富んだ人物であった。

トーマスさんは、8人兄弟の1人として成長、16

才の時、ニュージーランドの首府であるオークランドで家具について勉強、やがて第1次大戦の勃発によりニュージーランド陸軍へ入隊、フランスへ遠征、戦後、かねてからの念願であった家具会社を設立し、メイブルの名で出発した。

このメイブル家具株式会社は、現在ニュージーランド有数の大会社となり、トーマスさんは同社の会長である。また、コンウェイ婦人服株式会社の会長をもかねている。

トーマスさんのロータリー歴は、1923年、オーク



オークランドにある自宅の前に立つトーマスさんとメイ夫人（中央）を囲むお子さんとお孫さん。なお左端のセルマさんは元R.I.会長アンガス・ミッチェルさんの令嬢で長男ハルさん（左より四人目）の夫人。

ランド、ロータリー・クラブ人會をもつてはじまり、その2年後にクラブ会長、爾來、地区ガバナー、國際ロータリー理事、第1副会長などを歴任、去る1952年には、國際ロータリー会長代理として來日、名古屋と福岡に開かれた地区大會へ出席されている。

夫人のメイさんとは十代の頃、恋愛で結ばれ、現在3人のお子さんがあります。長男ハロルドさんは經理關係の仕事、次男のブルースさんはメープルの取締役兼支配人、末娘のドロシーさんは結婚されて

いる。

なおトーマスさんの趣味は、第1に仕事、そしてロータリー、國際問題、くだけては釣、ハンデセブンのゴルフ、花の栽培などだそうです。

ちなみにニュージーランドのロータリーは、人口225万人、クラブ数96、4,800名のロータリアンを擁し、この数は人口密度に比して、世界一であります。ニュージーランドは、本年までに3人の副会長、5人の理事を選出しているが、会長は同氏が初めて